

質問

農林業の振興は



北村 千寿 議員

町長

奥出雲ブランドを造成する



第12回全国和牛能力共進会の審査風景（鹿児島県）

質問 奥出雲町の実情にあった農林業振興を検討すると述べられたが、実情をどう捉えているか。

町長 担い手不足等、農業情勢は非常に厳しい状況と認識。今後、各種資源や経験と知識を融合し、奥出雲ブランド価値の造成により一層の農林業振興を図る。

質問 スマート農業の活用を図るとのこと、具体的にはなにか。

町長 今年度、実証事業で水田のセンサーやカメラによるモニタリングにより各種データを取得した。今後、これら水田の状況をデータ化・蓄積して農作業の効率化を進める。

再質問 位置情報を活用したドローンの防除も効率化につながるのでは。

町長 ドローンによる肥料散布等有効であると意見を聞いている。

再質問 先般の全共の成績は畜産振興にとって追い風となった。そうした中、JAは肥育事業の撤退表明した。雲南にある肥育センターへは、建設時に国、県、雲南10カ町村が補助している。①補助した肥育センターはどこか、②当時仁多町、横田町はいくら補助したのか、③撤退表明に当たって事前協議があったか。

農林振興課長 ①補助したのは仁多、吉田、頓原の3肥育センター、



JA仁多広域肥育センター

②補助額は精査中、わかっている仁多肥育センターには仁多町・横田町で1900万円を補助、③事前協議はなかった。

再質問 ①今後どのように協議するのか、②国の補助金返還が生じた場合、奥出雲町も返還を求めるのか。

町長 ①雲南3市町

と一緒に事業継続を求める、②補助金適正化法に基づき返還を求める。

要望 当時、雲南10カ町村は相応な負担をしている。雲南3市町、強い気持ちを持って臨まれることをお願いする。

その他の質問

第2次奥出雲町総合計画の見直しについて